

◆家庭での教え



公民館長 田 村 精

おとのの責任

戦後二十四年を経たいま、政治家も経済人も教育者もあらゆる人たちが、もう一步努力するということを忘れてはならないと思います。

戦後の経済発展にともなう勘定書をどう払うかといふことは、いま目に見えない四つの手にわけて動かれています。四つの手は、大量生産と大量宣伝、大量販売と大量消費です。大量生産をするから、テレビ、ラジオでの大量宣伝をする。大量宣伝するから大量販売しなければならぬ。そうして消費を美德などと大量消費をおおっているわけです。われわれは、これをどう受けとめるか。たれかがではなくて、ひとつひとつ家庭で母親と父親がもう少し強くなつて働く喜びを教えることが必要です。

◆私の先生

私が小学校で教わった先生は、準教員養成所の出で絵は書けないし、唱歌などもやれない。だから、読み書きそろばんばかり、それに複式学級ですから、暇があれば書取りばかりやらされました。ところが、彼岸になると先生がさきに立つてお墓の草をとります。氏神のお祭りになると、神さまに感謝する日だからと、さきに立つて参拝される。こういう教育を受けてきました。

◆おとな子ども

社会教育では、地域の浄化ということをよくいわれますが、社会教育でも学校教育でも家庭教育でも、保健治病のことが中心ではないでしょうか。家庭で健健康な子どもを育てるには、食べるものに注意し、着るものに注意して、運動を適当にさせる。学校では、基礎的におとな子ども

社会の悪の問題は、おとなの責任が多いのです。いまこそ、われわれおとなが反省すべきではないでしょうか。『悪書追放』などは、青年や子どもは被害者です。ああした書籍や映画なんかは、みんなおとながつくったものです。

◆物と心の調和

われわれは、大自然の法則にしたがって、われわれの『心』を養わなければならないと思います。さんざんとした日光を浴びる。食物も生のものを食べる。そうすれば、われわれ動物は炭酸ガスをだし、植物は同化作用として酸素をだしてくれる。そこでギブ・アンド・テイクが成り立つ。

こうしたことを実践するというのは心のもじかただけです。心は惡にもなり善にもなります。心は、きょううただ今からでも良くも悪くも変えられます。こうすることによって物と心の調和をはかるべきであると信じております。

新しい行政相談委員に、部原の真家耕三さん秘写真が就任しました。行政相談委員は、国行政全般についての苦情や要

和七年東京大学を卒業と共に岐阜県厅にはいつて以来、昭和四十年五月県北振興事務所長を勇退するまで三三年間も公務員として多

り、行政相談委員としてはうってつけの人です。

本業は農業といつていますが、退職後はいかくでも新しい農村というものに

図書案内

公民館では新しい図書を購入しました。どうぞ読んでください。

- ▶日本農業の未来像一柏祐賢
- ▶飼料作物の新技术一西村修一
- ▶これで防げる野菜の病害一瀧元清透
- ▶コンフリー久保利夫
- ▶家庭学習のさせ方一平野一郎
- ▶こんな時幹部はどうする一畠山芳雄
- ▶話し上手一青木一雄
- ▶集会と会議の進め方開き方一近藤唯
- ▶からだづくり教室一窪田登
- ▶人の上手な扱い方一能率大学編
- ▶仕事をもつ母の育児一品川孝子
- ▶婦人病一森井知巳
- ▶危ない経営一占部都美
- ▶人生二度なし一森信三
- ▶加波山事件一野島幾太郎
- ▶沖縄一小山田宏
- ▶素顔の日本一河崎一郎
- ▶信子とおばあちゃん一獅子文六
- ▶続岡っ引どぶ一柴田練三郎
- ▶峠(前・後編)一司馬遼太郎
- ▶親鸞一丹羽文雄

くらしのモノ

『贈り物』のエチケット



行政相談委員

望、意見などを聞き、その改善をはかるため、行政監理官長官から委嘱されたのです。

これまで活躍された原田盈徳さんが、このほど病気でお亡くなりになりました。その後任として選ばれました。

真家さんは、昭和七年東京大学を卒業と共に岐阜県厅にはいつて以来、昭和四十年五月県北振興事務所長を勇退するまで三三年間も公務員として多

秘密を守り、無料で相談

くの仕事をしてきました。

この間、農地部次長、土浦支厅長、農業改良事務所長富に存在することを強調しておきましたが、その点をさらにくわしく論じて行きます。

わが八郷町には発展の基となる潜在経済力が豊富に存在することを強調しておきましたが、その点をさらにくわしく論じて行きます。

そこで、八郷の観光地としての価値が認められます。それにおおじた受入れ体制を考えるべきです。

ここで先般のアメリカのアボロ計画による成功で、強く感じますことは、人類の夢であった月への到達が少しおもく達成できること、さらに月には酸素も水もない死の世界であることを確認できたこと、この力はなんであつたか。も

を収めることができあるとしたらどうでしようか。

中略

たたず、すべてを觀光に結びつけて無計画に金もうけに走ってはマイナスです。

諺にある「驕る平家は久し

からず」とやらで、行き過ぎるとなにごとによらず必

要を失敗します。本質はやは

り産業の眞の發展に氣を配

ることです。それはとり

もなおさず、柿でも栗でも

をちょっと申します

近い将来、人口の都市への集中が盛んになり、東京都も昭和五十年ごろには今の人口も激増が予想され、一般農産品の需要の増大とともに、牛乳の消費量も一日一万トンは必要と専門家はみていま

す。この量を賄うためには東京付近の地域で、搾乳牛百万頭を飼育しなければこの需要を満たすことはできません。その点

八郷町は恵まれた環境にあります。

以上この稿の終るあたり、役場も町民も一致

結束してこの問題と取り組み同時に話し合いの場をもつことです。要は私どもの考え方ばかりでなく世間にはすいぶんすぐれた意見や考え方を持つておられる人が多くおられました。そのため将来酪農をしていくだけ避けたいものです。

贈りものを受けたときは、ことばだけでなく、手紙でお礼をのべる習慣をつけましょう。保存に神経を使つたり飼育に手間のかかる動物などは、のなら、日没まえに持つて行くことです。

贈りものを受けたときは、ことばだけでなく、手紙でお礼をのべる習慣をつけましょう。